

No.とプログラム名	<b>No.33 太陽光パネルとTESLAの蓄電池で安心の生活を学ぼう</b>
実施日・回数	8月7日(水), 8日(木) 両日2部制 午前の部: 9:00~11:30, 午後の部: 13:00~15:30 (計4回実施)
会場	<b>【戸塚区】</b> 株式会社アイエーエナジー 会議室
参加児童数	50人
企業・団体等名	株式会社アイエーエナジー, 辻・本郷スマートアセット株式会社
参加の目的 (150文字程度)	発電、太陽光パネル、蓄電池、電気自動車についての基礎的な知識を学習し、停電時の安心な生活に加え、環境問題にも関心が向くようにする。 自転車による発電体験や「ソーラーエコハウス」キットの工作により、学習内容が身近なものだと認識してもらい、学習内容や思い描く安心な生活をグループディスカッションで共有する。

## 当日の流れ

- 【授業】 発電, 太陽光パネル, 蓄電について学ぼう : 30分
- 休憩 : 10分
- 【授業】 電気自動車について学ぼう : 10分
- 【工作】 ソーラーエコハウスをつくろう : 85分
- 【発表】 グループで学んだ内容やソーラーエコハウスのこだわりを共有しよう : 10分
- 修了式 : 5分



授業の様子



自転車による発電体験の様子



グループディスカッションの様子

【参加児童の意見・感想】

- 太陽光パネルのしくみがわかった。
- 自転車で電気をつくるのは大変だとわかった。
- オリジナルのソーラーエコハウスをつくるのが楽しかった。
- テスラの電気自動車がかっこいいので乗ってみたいと思った。
- かっこいい充電器を家につけたいので、電気自動車が欲しくなった。



ソーラーエコハウスの工作に取り組む様子



グループディスカッションの様子

## 企業の気付きや感想など

発電に関する内容は小学6年生で学ぶことであるため、6年生未満にとっては少し難しい内容のプログラムで退屈を感じさせてしまうのではないかと心配していたが、児童たちが非常に強い興味を持って参加してくれたため、非常に活発で有意義な学びの機会になったと感じている。

会場内で初対面の児童どうしが仲良くなり一緒に工作をしている姿も見受けられ、ディスカッションの時間を含め、他校の児童との良いコミュニケーションの機会も創出できたと考えている。

今回取り扱った太陽光パネル、蓄電池、電気自動車はどれも地球温暖化等の環境問題や再生可能エネルギーと密接な関わりを持つものであり、この先の未来を生きる小学生たちには是非知っておいて欲しい内容である。単に環境に良いという側面だけではなく、実生活においても豊かな暮らしに繋がるものである点も学んでいただき、ソーラーエコハウスの工作を通じてそれらが身近なものであることを認識頂けたのではないかと感じている。

平日にも関わらず、多数の児童に本企画に参加頂き、楽しく学ぶ機会を提供できたことに感謝している。

# 子ども アドベンチャー カレッジ 2024



会場入り口の展示



終了証の授与